



日本の中高年の幸福度について

立福 家徳(内閣府)

2016年6月25日

EASTERLIN PARADOX (幸福のパラドクス)

国の所得水準と幸福度との間に正の相関が必ずしも存在しない。(Easterlin 1974)

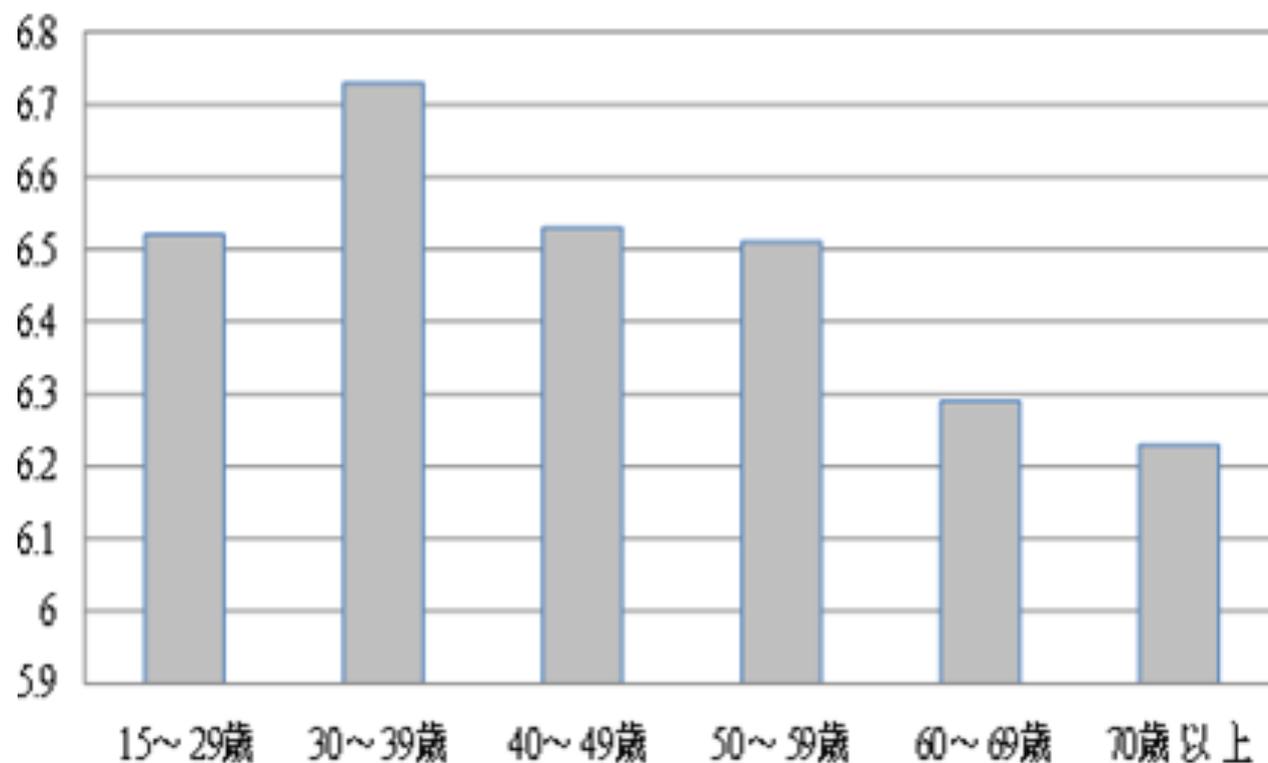
他にも

Boarini et al. (2006), Diener and Biswas-Diener (2002), Blanchflower and Oswald (2005), Frey and Stutzer (2002), Layard (2005).

所得が幸福度に与える影響には飽和点がある？

筒井・大竹・池田 (2005), Frey and Stutzer (2000)

日本において
中高年男性はどの世代よりも不幸。



(出所データ:内閣府「平成22年度国民生活選好度調査」)

問題意識

- 経済発展によって何が失われ、幸福度を下げているのか？
- 中高年男性は一番不幸。

退職前後の男性

- 大学卒業後の約40年間に会社で過ごし、長時間労働を通じて日本の経済発展に寄与してきた。
- その結果として、家族や近所付き合いといった、会社以外の場における人との関係構築に時間を費やしてきておらず、退職後に家族や、地域社会から孤立するケースが多くみられる。
- つまり、仕事に追われるがあまり職場以外で他者との関係を構築することが出来ず、それを持たないまま退職を迎え、その後も上手く新たな人間関係を構築することが出来ず孤立するという男性が多く存在するのではないか。

政策的な重要性

- 内閣府共生社会政策担当
高齢社会対策HP

(<http://www8.cao.go.jp/kourei/index.html>)

「高齢者の笑顔があふれるような生涯にわたって安心して生きがいをもって過ごすことができる社会を形成します。」

政策的な重要性

- 団塊世代が生きがいを感じる時をみると、「趣味に熱中しているとき」が最も高く47.7%であり、次いで「子どもや孫など家族団らんのとき」47.6%、「旅行にいつているとき」39.5%、「友人や知人と過ごしているとき」35.3%、「仕事に打ち込んでいるとき」33.0%、「夫婦団らんのとき」32.8%の順となっている。(内閣府「平成24年度団塊の世代の意識に関する調査結果」)

⇒2人に1人が子や孫との団らんに、3人に1人が友人や知人と一緒にの時に、生きがいを感じている。

問題意識

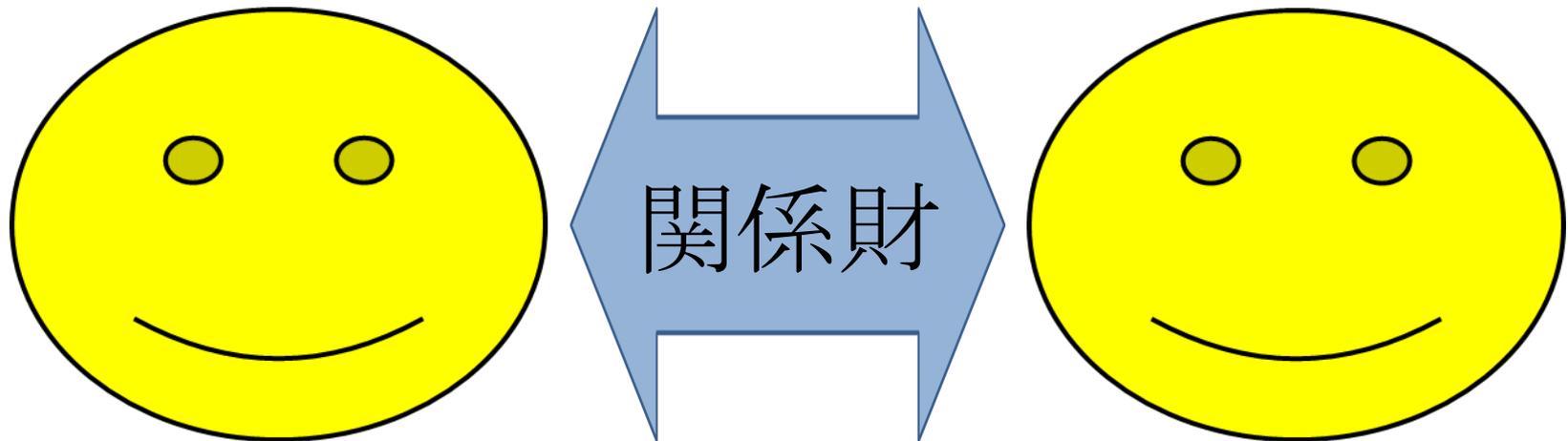
- 経済発展によって何が失われ、幸福度を下げているのか？
- 中高年男性が一番不幸。

関係財とは？

- Gui (1987), Ulhaner (1989) は関係財を特殊な準公共財として位置付け、関係財は、ある個人と個人の間の相互作用によって共同で生産されるものであり、一人で生み出すことは出来ず、一方の主体のみで供給・消費することは不可能であると説明する。
- 経済的に発展した国においては関係財を生産するための時間に対する機会費用が高まり、人々は関係財の生産を怠るため、関係財の生産量は低下する (Becchetti and Santoro 2004)。
- 関係財の消費はその生産に関わる主体間でのみ可能なのでその生産に関わっていない個人は消費することが出来ない。つまり非競合性、非排除性といった特徴を持つ公共財とは異なり、消費をすることの出来る個人が生産される時点で決定している。

関係財とは

- ある個人と個人の間の相互作用によって共同で生産されるもの。一人で生み出すことは出来ず，一方の主体のみで供給・消費することは不可能。



RESEARCH QUESTION

Research Question

「関係財は中高年男性の幸福度に影
響を与えるのか？」

利用データ

- 「暮らしと生活設計に関する調査(中高年パネル調査) Wave1-5, 1997-2005」(SSJDAより提供)

- 【調査主体】

ニッセイ基礎研究所

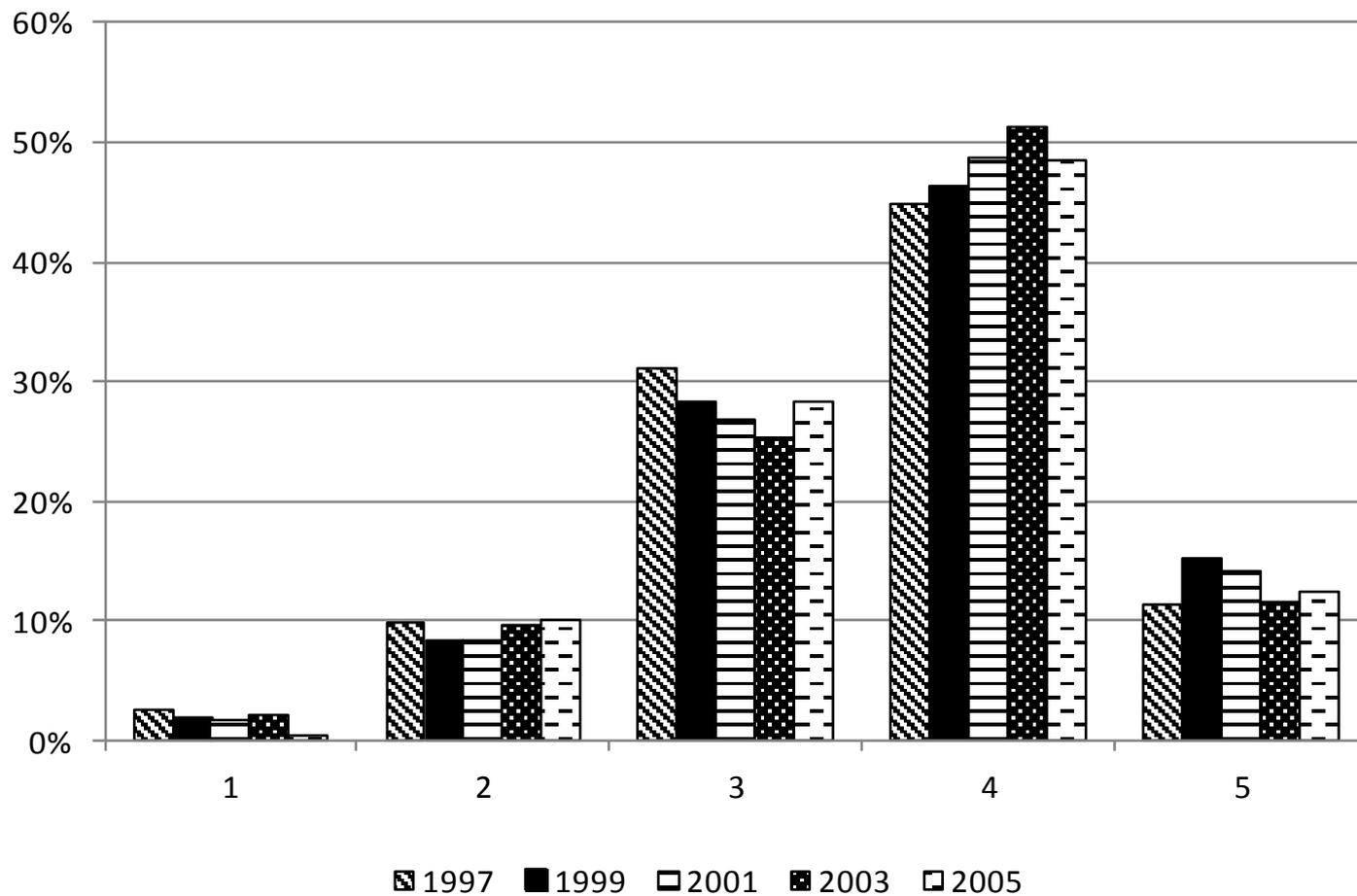
- 【データの内容】

97年時点で50歳から64歳の中高年男性についてそれまでのライフコースについて回想法によって調査を行っている。その後、2年ごとに2005年まで計5回パネル調査を行っており、中高年男性の定年退職等に伴うライフコースの変化をとらえることのできるとても有用なデータ。

幸福度

- 本論文での質問は「生活全般について、あなたはどの程度満足していますか」という質問に対して、「満足している」から「全く満足していない」の5段階で回答したものをを用いている.
- より一般的には、「全体として、あなたは普段どの程度幸福だと感じていますか」という質問に「非常に幸福」から「非常に不幸」までの間で5段階や11段階(0点から10点)で回答を求めるもの.

幸福度の分布

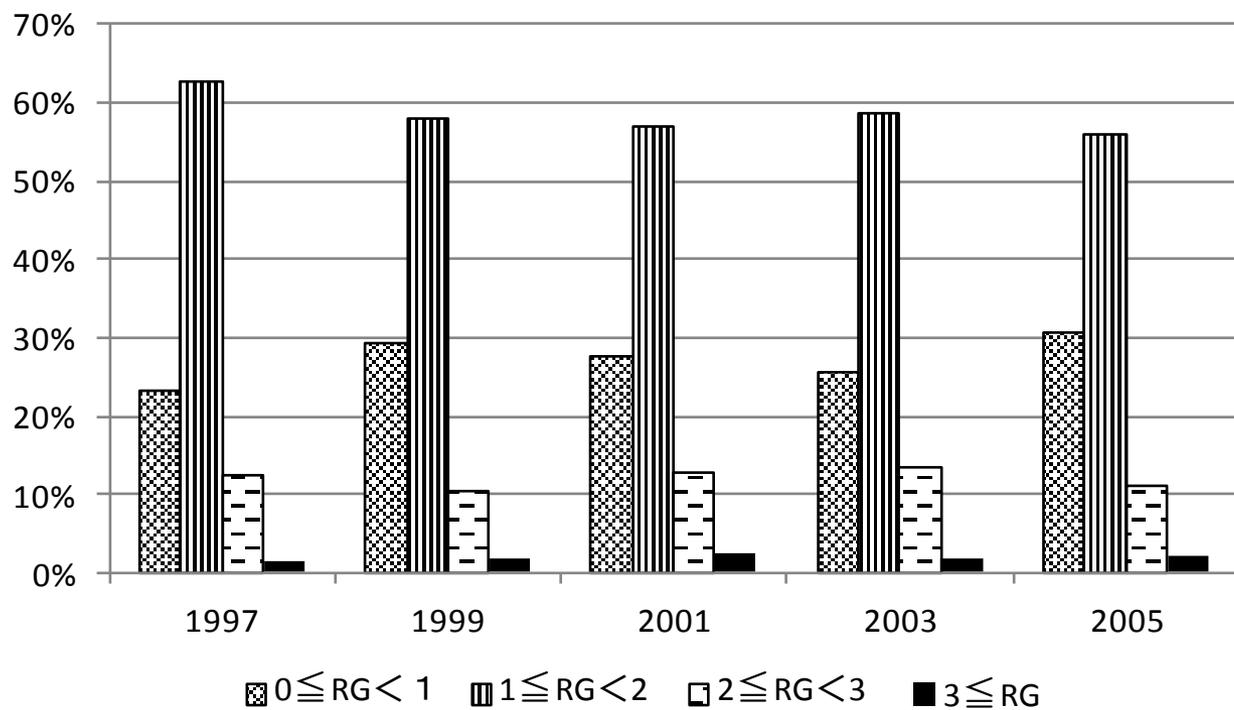


関係財の定義

	1. 別居している親または子	2. それ以外の親族	3. 職場の人	4. 近所の人	5. その他の友人
a. 一週間くらい家を空けるときの郵便物や宅配便の受け取りを頼める相手					
b. 家族が一か月入院したとき、手伝いを頼める相手					
c. 借金や資産運用などについて相談する相手					
d. 子供の教育や老後の問題などについて相談する相手					
e. 個人的な悩み事を相談する相手					
f. 気楽におしゃべりをしたり気晴らしをする相手					
合計	0~6	0~6	0~6	0~6	0~6

変数	定義	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
年齢	回答時の年齢	2761	61.821	5.084	50	72
年齢二乗	回答時の年齢を二乗したもの	2761	3847.730	625.641	2500	5184
既婚ダミー	配偶者がいれば1, いなければ0を取るダミー変数	2761	0.958	0.201	0	1
子ども人数	子ども人数	2761	2.231	0.696	0	7
保有金融資産	金融資産のトータル残高(万円)	2761	1248.346	1871.668	0	35000
自営ダミー	回答時の就業状況が回答時に賃金を得る仕事をしていなければ1, していれば0を取るダミー変数	2761	0.252	0.434	0	1
無職ダミー	定年を経験していれば1, していなければ0を取るダミー変数	2761	0.289	0.453	0	1
定年経験ダミー	あなたの健康状態は次のうちどれに近いですか」という質問に健康(4)から健康でない(1)の4段階で回答したもの	2761	0.352	0.478	0	1
健康	現在の収入について、あなたはどの程度満足していますか」という質問に、満足している(5)から全く満足していない(1)の5段階で回答したもの	2761	3.188	0.778	1	4
所得満足度	将来をいろいろと考えるより、現在の生活を大切にしたい」という考えにそう思う(5)からそう思わない(1)までの5段階で回答したもの	2761	3.008	1.175	1	5
時間選好度	たとえ単調でも、安定している生活の方がよい」という考えにそう思う(5)からそう思わない(1)までの5段階で回答したもの	2761	3.961	0.928	1	5
危険回避度	別掲	2761	4.240	0.823	1	5
関係財		2761	1.290	0.647	0	5.2

関係財の分布



関係対象ごとの分布

関係財の対象	サンプルサイズ	平均値	標準偏差	最小値	最大値
別居している親または子	2761	2.189	1.888	0	6
それ以外の親族	2761	1.656	1.708	0	6
職場の人	2761	0.323	0.745	0	6
近所の人	2761	1.051	1.035	0	6
その他の友人	2761	1.232	1.288	0	6

關係財×年齡(%)

	年齡			
	50-54	55-59	60-64	65-
$0 \leq RG < 1$	27.8	24.8	25.1	30.7
$1 \leq RG < 2$	56.9	58.5	61.6	57.5
$2 \leq RG < 3$	13.1	14.2	11.3	10.6
$3 \leq RG$	2.2	2.5	2	1.3
	100	100	100	100

關係財×健康

	主觀的健康感			
	1	2	3	4
$0 \leq RG < 1$	36.8	30.5	26.5	24.4
$1 \leq RG < 2$	50.5	57.1	58.5	61.6
$2 \leq RG < 3$	11.0	11.1	12.6	12.3
$3 \leq RG$	1.6	1.3	2.4	1.6
	100	100	100	100

分析モデル

$$SWB_{lit}^* = \alpha x_{lit} + \beta Ret_{lit} + u_{li}$$

ここで、幸福度 (SWB_{lit}^*) は潜在変数であり、データから実際に観察できるのは5段階の順序尺度である。

$$SWB_{lit} = \begin{cases} 0 & \text{if } SWB_{lit}^* \leq \mu_{l0} \\ 1 & \text{if } \mu_{l0} < SWB_{lit}^* \leq \mu_{l1} \\ 2 & \text{if } \mu_{l1} < SWB_{lit}^* \leq \mu_{l2} \\ 3 & \text{if } \mu_{l2} < SWB_{lit}^* \leq \mu_{l3} \\ 4 & \text{if } \mu_{l3} < SWB_{lit}^* \end{cases}$$

推計結果(1)

	(A)Unbalanced Panel Ordered Probit		(B)Balanced Panel Ordered Probit		(C)Pooled Ordered Probit	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差
年齢	0.074	0.111	-0.046	0.224	0.046	0.090
年齢二乗	-0.001	0.001	0.001	0.002	0.000	0.001
既婚ダミー	0.297 *	0.153	0.233	0.493	0.279 ***	0.103
子ども人数	-0.009	0.046	-0.230 *	0.124	-0.012	0.030
保有金融資産	0.000 ***	0.000	0.000	0.000	0.000 ***	0.000
自営ダミー	0.105	0.076	0.270	0.167	0.110 **	0.055
無職ダミー	0.067	0.076	0.076	0.173	0.006	0.058
定年経験ダミー	0.056	0.076	0.181	0.166	0.044	0.054
健康	0.319 ***	0.038	0.418 ***	0.085	0.281 ***	0.028
所得満足度	0.596 ***	0.027	0.550 ***	0.062	0.523 ***	0.021
時間選好度	0.017	0.031	-0.112	0.069	0.013	0.025
危険回避度	0.053	0.036	0.026	0.079	0.037	0.028
関係財	0.141 ***	0.043	0.323 ***	0.097	0.112 ***	0.033
_cut1	2.712	3.404	-1.106	6.877	2.064	2.761
_cut2	4.035	3.404	0.340	6.877	3.150	2.761
_cut3	5.503	3.405	1.738	6.882	4.334	2.761
_cut4	7.663	3.407	3.961	6.888	6.066	2.762
rho	0.364 ***	0.027	0.212 ***	0.054		
サンプル数	2761		540		2761	
対数尤度	-2890.816		-521.958		-2991.201	
尤度比検定量	683.04 ***		133.77 ***		1004.53 ***	

注)*** (1%水準で有意), ** 5%水準で有意), * (10%水準で有意)

推計結果(2)

	D)Unbalanced Panel Ordered Probit		E)Balanced Panel Ordered Probit		F)Pooled Ordered Probit	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差
年齢	0.064	0.111	-0.011	0.225	0.038	0.091
年齢二乗	-0.001	0.001	0.000	0.002	0.000	0.001
既婚ダミー	0.302 **	0.153	0.264	0.497	0.280 ***	0.103
子ども人数	-0.013	0.046	-0.205	0.126	-0.017	0.031
保有金融資産	0.000 ***	0.000	0.000	0.000	0.000 ***	0.000
自営ダミー	0.093	0.078	0.378 **	0.173	0.102 *	0.056
無職ダミー	0.059	0.078	0.153	0.176	0.002	0.060
定年経験ダミー	0.052	0.076	0.226	0.168	0.043	0.054
健康	0.322 ***	0.038	0.405 ***	0.086	0.285 ***	0.029
所得満足度	0.595 ***	0.027	0.543 ***	0.062	0.521 ***	0.021
時間選好度	0.017	0.031	-0.123 *	0.070	0.013	0.025
危険回避度	0.056	0.036	0.042	0.080	0.040	0.028
関係財)						
別居している親子	0.041 ***	0.014	0.032	0.032	0.036 ***	0.012
それ以外の親族	0.026	0.016	0.070 *	0.037	0.019	0.013
職場の人	-0.003	0.039	0.311 ***	0.095	0.007	0.031
近所の人	-0.019	0.026	0.085	0.056	-0.020	0.021
その他の友人	0.058 ***	0.021	0.037	0.049	0.044 ***	0.017
_cut1	2.410	3.414	0.280	6.925	1.819	2.774
_cut2	3.737	3.413	1.730	6.925	2.908	2.773
_cut3	5.207	3.414	3.139	6.930	4.094	2.774
_cut4	7.369	3.416	5.395	6.937	5.829	2.775
rho	0.363 ***	0.027	0.217 ***	0.055		
サンプル数	2761		540		2761	
対数尤度	-2887.679		-517.851		-2987.521	
尤度比検定量	689.32 ***		141.98 ***		1011.89 ***	

注)*** (1%水準で有意), ** 5%水準で有意), * (10%水準で有意)

推計結果(3)

	Unbalanced Panel Probit <i>i=1</i>		Unbalanced Panel Probit <i>i=2</i>		Unbalanced Panel Probit <i>i=3</i>		Unbalanced Panel Probit <i>i=4</i>	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差
年齢	-0.318	0.475	0.137	0.215	0.004	0.149	0.260	0.198
年齢二乗	0.002	0.004	-0.001	0.002	0.000	0.001	-0.002	0.002
既婚ダミー	0.191	0.400	0.268	0.242	0.400 **	0.197	0.362	0.304
子ども人数	0.008	0.147	-0.027	0.080	0.011	0.059	0.008	0.077
保有金融資産	0.000	0.000	0.000 ***	0.000	0.000 ***	0.000	0.000 **	0.000
自営ダミー	-0.207	0.259	0.067	0.140	0.113	0.099	0.187	0.126
無職ダミー	-0.121	0.263	0.179	0.140	0.081	0.101	0.004	0.139
定年経験ダミー	0.283	0.269	0.019	0.137	0.125	0.099	-0.113	0.131
健康	0.235	0.124	0.363 ***	0.067	0.329 ***	0.050	0.389 ***	0.073
所得満足度	1.019 ***	0.189	0.760 ***	0.064	0.614 ***	0.037	0.547 ***	0.048
時間選好度	-0.111	0.115	-0.001	0.059	0.034	0.041	0.042	0.054
危険回避度	-0.111	0.137	-0.112	0.070	-0.012	0.047	0.286 ***	0.066
関係財	0.304 *	0.179	0.131	0.084	0.154 ***	0.057	0.136 *	0.075
/hsig2u	-0.263	0.593	-0.204	0.238	-0.325	0.155	-0.130	0.192
sigma_u	0.877	0.260	0.903	0.108	0.850	0.066	0.937	0.090
rho	0.435 ***	0.146	0.449 ***	0.059	0.419 ***	0.038	0.467 ***	0.048
サンプル数	2761		2761		2761		2761	
対数尤度	-172.111		-697.799		-1425.812		-828.681	
Wald検定量	35.51 ***		183.03 ***		384.00 ***		189.02 ***	

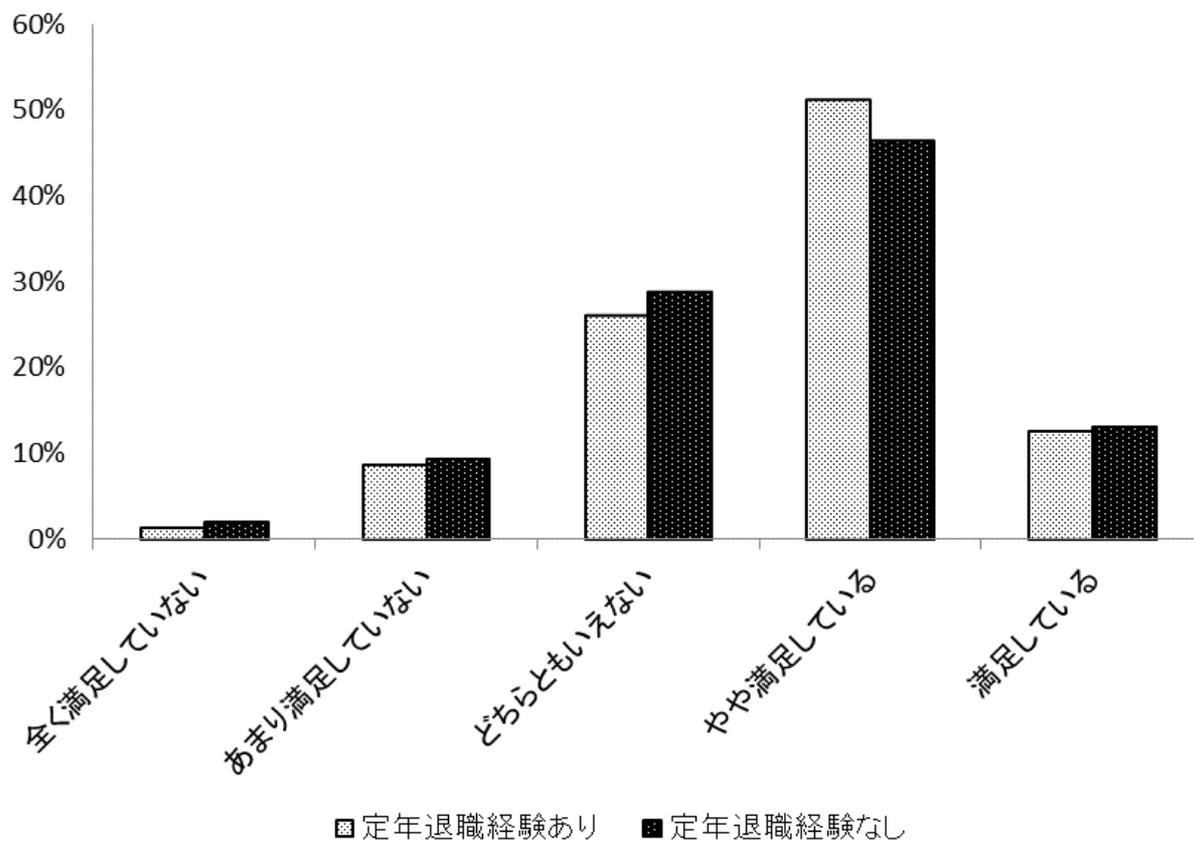
注)*** (1%水準で有意), ** (5%水準で有意), * (10%水準で有意)

推計結果(4)

	Balanced Panel Probit $j = 1$		Balanced Panel Probit $j = 2$		Balanced Panel Probit $j = 3$		Balanced Panel Probit $j = 4$	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差
年齢	-0.312	0.493	0.138	0.217	-0.006	0.149	0.256	0.199
年齢二乗	0.002	0.004	-0.001	0.002	0.000	0.001	-0.002	0.002
既婚ダミー	0.162	0.416	0.274	0.243	0.407 **	0.197	0.367	0.306
子ども人数	-0.015	0.151	-0.034	0.081	0.008	0.059	0.008	0.077
保有金融資産	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000 ***	0.000	0.000 **	0.000
自営ダミー	-0.354	0.279	0.058	0.143	0.113	0.102	0.152	0.130
無職ダミー	-0.211	0.279	0.179	0.143	0.084	0.103	-0.029	0.142
定年経験ダミー	0.295	0.276	0.020	0.137	0.121	0.099	-0.121	0.132
主観的健康感	0.270 **	0.129	0.371 ***	0.067	0.332 ***	0.050	0.390 ***	0.074
所得満足度	1.065 ***	0.201	0.758 ***	0.064	0.613 ***	0.037	0.550 ***	0.048
時間選好度	-0.142	0.118	0.001	0.059	0.039	0.041	0.038	0.054
危険回避度 (関係財)	-0.053	0.139	-0.103	0.070	-0.008	0.047	0.282 ***	0.066
別居している親子	0.174 ***	0.067	0.047 *	0.028	0.036 *	0.019	0.040	0.025
それ以外の親族	0.053	0.061	0.012	0.030	0.039 *	0.021	0.020	0.028
職場の人	-0.150	0.152	0.026	0.080	0.026	0.053	-0.043	0.069
近所の人	-0.074	0.095	-0.049	0.050	-0.052	0.035	0.068	0.046
その他の友人	0.056	0.082	0.068	0.042	0.074 ***	0.029	0.014	0.037
/lnsig2u	-0.235	0.608	-0.200	0.241	-0.329	0.155	-0.116	0.193
sigma_u	0.889	0.270	0.905	0.109	0.848	0.066	0.944	0.091
rho	0.441 ***	0.150	0.450 ***	0.060	0.419 ***	0.038	0.471 ***	0.048
サンプルサイズ	2761		2761		2761		2761	
対数尤度	-168.225		-695.822		-1422.004		-827.597	
Wald検定量	34.82 **		183.63 ***		387.78 ***		188.53 ***	

注)*** (1%水準で有意), ** (5%水準で有意), * (10%水準で有意)

定年経験の有無×幸福度



推計結果(5)

	Ordered Probit 定年経験あり)		Ordered Probit 定年経験なし)		Ordered Probit 定年経験あり)		Ordered Probit 定年経験なし)	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差	係数	標準誤差
年齢	-0.136	0.300	0.004	0.109	-0.180	0.303	0.002	0.110
年齢二乗	0.001	0.002	0.000	0.001	0.001	0.002	0.000	0.001
既婚ダミー	0.136	0.168	0.379 ***	0.132	0.130	0.168	0.385	0.132
子ども人数	0.012	0.053	-0.021	0.037	0.007	0.053	-0.022	0.038
保有金融資産	0.000	0.000	0.000 ***	0.000	0.000	0.000	0.000 ***	0.000
自営ダミー	0.205	0.154	0.103	0.060	0.191	0.156	0.099	0.063
無職ダミー	-0.057	0.079	0.096	0.089	-0.060	0.084	0.099	0.091
健康	0.258 ***	0.048	0.305 ***	0.036	0.260 ***	0.048	0.308 ***	0.036
所得満足度	0.587 ***	0.037	0.500 ***	0.025	0.584 ***	0.037	0.499 ***	0.025
時間選好度	-0.040	0.043	0.033	0.030	-0.034	0.043	0.033	0.031
危険回避度	0.012	0.049	0.052	0.034	0.022	0.050	0.055	0.034
関係財	0.220 ***	0.060	0.069 *	0.040				
別居している親子					0.068 ***	0.020	0.018	0.014
それ以外の親族					0.052 **	0.022	0.005	0.015
職場の人					0.021	0.072	0.009	0.035
近所の人					-0.048	0.036	-0.005	0.025
その他の友人					0.064 **	0.031	0.039 ***	0.020
_cut1	-4.228	9.648	1.021	3.310	-5.700	9.720	0.974	3.319
_cut2	-3.057	9.646	2.076	3.308	-4.521	9.718	2.032	3.318
_cut3	-1.880	9.645	3.274	3.309	-3.338	9.717	3.231	3.318
_cut4	0.014	9.645	4.937	3.310	-1.433	9.717	4.895	3.319
サンプル数	972		1789		972		1789	
対数尤度	-1000.830		-1975.310		-996.728		-1974.064	
尤度比検定量	381.77 ***		645.89 ***		389.97 ***		648.38 ***	

注)*** (1%水準で有意), ** 5%水準で有意), * (10%水準で有意)

インプリケーション

- 多くの先行研究と同じく健康と所得への満足度が正の影響を与えていることが1%の有意水準で支持される。これらの変数についてはBalanced data, Pooled dataを用いた分析についても同様の結果を得ている。
- 次に本稿の目的である関係財について見ていくとその増加は、幸福度に正の影響を与えていることがこれも1%の有意水準で支持されている。

⇒関係財は中高年男性の幸福度の決定に影響を与えている。